

障がいのある人との表現を考えるラボ

プログラム2

障がい者をつくる演劇——実践例を知ろう——

日時：2021年1月20日（水）・21日（木）

時間：19:00～21:00 ※オンライン見学あり

2019年12月に愛媛で公演されたおきらく劇場ピロシマの「ウタとナンタの人助け」で演出をされた永山智行氏を迎えます。この作品は広島だけでなく愛媛でも反響の大きい作品でした。障がいのある人と様々な地域で作品づくりをしている永山智行氏に、障がいのある人たちと一緒に作る演劇についてお話していただきます。

講師：永山智行（演出家・劇作家）

1967年、宮崎県都城市生まれ 劇団こふく劇場代表。

2001年『so bad year』でAAF戯曲賞受賞。2006年～2016年まで宮崎県立芸術劇場の演劇ディレクター。2007年障がい者も一俳優として参加する作品づくり（みやざき◎まあるい劇場）、こどもたちとの作品づくり（演劇ワークショップみまた座）、小中学校での上演（夏と秋の巡回公演）、地域住民との作品づくり（みまた演劇フェスティバルまちドラ！）など、地域の多様な方々との作品づくりを行なっている。

- 実施場所 シアターねこ（愛媛県松山市緑町1-2-1 電話：089-904-7025）
- 対象者 障がいのある人との表現活動に関心のある方々（障がい者施設関係者等）
- 募集定員 15人（できるだけ2日間受講してください）
- 参加費 1回500円（オンライン見学者は無料）

- ・主催 文化庁、NPO法人シアターネットワークえひめ
文化庁委託事業「令和2年度障害者による文化芸術活動推進事業」
- ・協力 愛媛県障がい者アートサポートセンター、松山ブンカ・ラボ
- ・後援 松山市社会福祉協議会
- ・参加申込 **氏名・所属・連絡先を記載してメールでご連絡ください。**
折り返し申込み書をメールさせていただきます。
メール送り先：kazenoneco@gmail.com
NPO法人シアターネットワークえひめ 就労継続支援B型事業所 風のねこ
〒790-0806 愛媛県松山市緑町1-2-1 電話：089-904-5173